

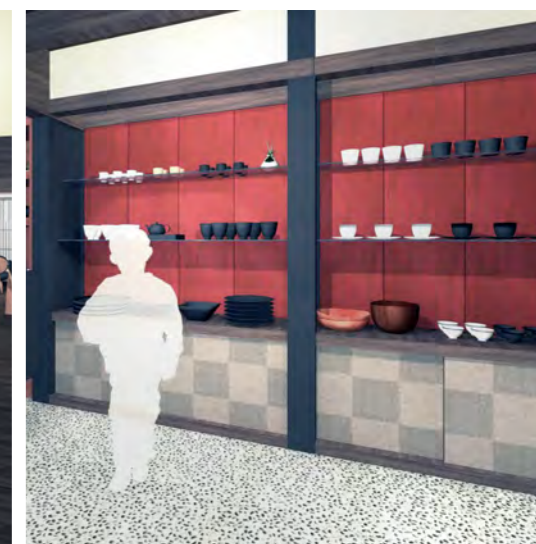
囲炉裏庵 COCOICO

様々な人々が集い発信する場所。COCOICO（ここいこ）を作りました。

地域の文化の伝承と若者の移住者との交流により、また新たな文化が生まれる場所。古民家の吹抜けの空間には地域の染作家が作品展示を行い、若い陶芸作家の工房がこの地に活動の拠点を移しました。様々な作家の作品を展示できる空間としてCOCOICOはギャラリーカフェとして観光客や地域の集まる場所を提供します。移住者の夫婦がカフェ企画をし、メニュー開発をしました。地域の皆様から教わった食事も提供します。

和カフェのメニュー

おはぎなどと一緒に茶から珈琲など地域の食材を使った伝統的な料理まで作家の素敵な器で提供します。



歴史ある宿場町の貴重な建物の改修により、建物を構築する材料が、重厚でかつ温かみのある素材である。塗り壁や板材など本物の素材を使用し、本物の質感を感じてもらいたい。柱や梁の永く使用されてきた黒く落ち着いた色調に、板材は色目を合わせ着色している。また新しく造作した家具などは木目を生かしたクリアでオイルフィニッシュしている。使用する客席の家具も色合わせしてクリアな木目と黒を合わせている。今後の時間経過により、木目の色目がだんだんと良い色調に馴染む様子も楽しみたい。

連子の間の客席レイアウトは座卓 1400 x 755 に長大作氏の名作椅子「低座椅子」を合わせ4席を2セット壁に沿わせて配置。2席は 755 x 755 座卓を土間側に配置、汎用性の高いレイアウトとした。囲炉裏の間は囲炉裏を中心として4~6席（座布団）、目線高さを合わせるため後の2席は 755 x 755 の座卓と座椅子（辻村久信氏）を合わせている。アクセントの和紙の照明スタンドはイサムノグチの「AKARI」を採用、温かみのある空間を演出している。

